

気軽に散歩 (愛知県・名古屋)

愛知県名古屋市は名古屋城の城下町に職人が集い、ものづくりの街として発展をとげてきた。現在も、自動車産業を中心に工業がさかんだ。

まずは、名古屋港周辺を散策することに。地下鉄名港線の名古屋港駅で下車。地上に出ると、すぐに視界が開ける。左手には南極観測船のふじと、名古屋港ポートビルが見える。右手には名古屋港水族館も。この一帯はガーデンふ頭と呼ばれ、大型客船も入港する。初めにオレンジ色の船体が目をひく、ふじを見学することにした。

ふじは昭和 40（1965）年から 18 年にわたり活躍した砕氷船。昭和 60（1985）年から名古屋港に係留されている。内部には現役当時の乗組員の居室や、南極での野外調査の様子が再現されている。中には 3 段や 2 段のベッドが並ぶ 105 人収容の大部屋も。プライバシーもない中で長期間乗務した乗組員の苦労を想像すると、胸が締め付けられるような気持ちになる。

ふじから下船し、海を眺めながら岸壁を歩く。水族館に行くのか、親子連れが多い。開放感と行き交う船の多さに、いつまでも眺めていたくなる。

続いて、名残惜しく感じながらも名古屋城へ向かう。地下鉄名城線の市役所駅で降りる。木々が立ち並ぶ歩道を歩いていると、屋根に金色の鯨ほこが光る城が見えてきた。それを目印に城門を目指す。

城内には、かつて使用されていた生活用品や武具類が展示されている。城下町の町並みも再現されていて、まるで当時の町に来たかのような気分になる。最上階の天守閣展望室からは、手前に名古屋城周辺の緑、少し離れて名古屋の街を眺めることができる。屋根の上の金鯨の姿を想像するだけで、誇らしげな気分になり景色が少し違って見えてくる。

船や海を学ばせてくれる港と、歴史と風格ある名古屋城。個性的なグルメも満載な街なので、次に訪れた際には満喫したい。

「海員だより」